



優秀作文の表彰を受けた児童・生徒と家族の皆さん

## 大切な家族への想いを発表

第36回「わたしと家族」作文発表会が1月20日、公民館で開催されました。

発表会では、村内各小中学校から応募のあった577作品の中から選ばれた優秀作文11人、佳作24人の児童生徒に表彰状が手渡されたほか、家族への花束の贈呈、優秀作文の発表が行われました。

優秀作文の表彰を受けた11人の児童生徒は壇上で家族を隣に、大切な家族への日ごろの想いや感謝の気持ちを綴った作文を堂々と発表しました。

表彰者は次のとおりです。(敬称略)

優秀賞 ▼東小：田口慈人、石井音々葉

▼南小：高橋寧々、武井佑季奈、見城心聖  
▼大河原小：吉澤由衣、阿部岳琉  
▼昭和中和：倉沢優月、石澤ひなの、飯塚悠人、金子凜

佳作 ▼東小：原澤直之、須田琉菜、錦織春風、加藤大輝 ▼南小：堤大偉也、新木亨菜、金井大知、松井虹介、鶴渕美月、茂野優陽、金井秀五、竹之内乙恋、綿貫花音 ▼大河原小：星野逞、角田心々夢、佐々木貴也、高橋祭 ▼昭和中和：新木那茅、鈴木崇久、高橋周子、林佳宏、脇本直、七五三木吉充、フンテイラ・シャネル・ユリ

## 元議長に加藤芳夫さんに旭日單光章

元村議会議長の加藤芳夫さん(常木)が旭日單光章を受章し、2月5日に加藤さんの自宅で勲記と勲章の伝達が行われました。

加藤さんは、昭和57年に昭和村議会議員に当選以来、3期12年にわたり在職。総務常任委員会委員長を経て、平成2年から4年間は議長として、議会の円滑な運営に尽力されました。その間、昭和イノベーションの開設、中学校の統廃合、赤城西麓土地改良事業等、村が抱えていた重要課題に、村と協働して積極的に取

り生まれ、本村の農業の振興、生活環境、教育、文化、また福祉の向上に大きく貢献されました。

また、村社会福祉協議会長、糸之瀬農業協同組合理事、村農業委員など、村の要職を歴任し、多方面でご活躍されました。

加藤さんは、今回の受章にあたり「叙勲の榮譽をいただき光栄です。これからも元気に頑張っていきたい」と喜びを語りました。



受章された加藤芳夫さん

## 新年賀詞交歓会を開催

村主催による新年を祝う賀詞交歓会が1月8日、行政関係者や村内企業・各団体関係者、村ふるさと大使らおよそ200人を招き、村公民館多目的ホールで開催されました。

式典では、堤村長の主催者あいさつをはじめ、加藤議長のほか村内外の行政機関、企業や経済団体などの代表者の方々より祝辞が述べられ、新年の訪れを祝いました。

このあと、生越太鼓の皆さんによる見事な演奏が披露され、和太鼓の響きが式典に華を添えました。



輝かしい新年を祈念し乾杯



受賞した吉野藤彦さんと妻の一江さん

## 吉野藤彦氏さんに農業振興船津賞

吉野藤彦さん(赤谷)に1月22日、伊勢崎市で開催された群馬県農業委員会活動推進研修会の席上、群馬県農業振興船津賞の授与が行われました。

この賞は、上毛かるたにも登場する、日本の農業発展に大変尽力された船津伝次平翁の業績を顕彰し、昭和35年に創設され、毎年県内の農業振興に寄与された模範農家お一人に贈られるものです。

吉野さんは、カナダで酪農経営を学び、帰国後に農業生産法人を設立。雇用条件の改善を図るとともに、堆肥を牧草地に還元することで飼料の生産を行う、環境

に優しい経営を実践されました。

また、乳量の増大と品質の向上を図るための施設をいち早く導入するなど大規模酪農経営の先駆者として、これらの経験を県内外の農家に積極的に広め、酪農振興に貢献されました。

吉野さんは「これまでやってきたことが認められ大変嬉しく、また、堤村長をはじめ農業委員会や村の皆さんらの応援があったから受賞できたと思います。この先、歳を重ねても夢や目標を持ち続け、頑張っていきたいです」と受賞の喜びを語りました。

## 地域防災の要・消防団が出初式

昭和村消防団(諸田光二団長)は1月6日、多目的屋内運動場で出初式を行いました。

午前10時から行われた式典には、団員や役員、来賓などおよそ100人が出席。

新年のあいさつで堤村長は「団員の皆様には、日頃から、多くの訓練を重ね、火災や自然災害などから村民の生命・財産を守るため、献身的な活動をしていただきましたことに、厚く御礼を申し上げます」と式辞。

次に、諸田団長が「皆さんの日頃の努力と、分団の団結力が昭和村消防団の結

束力と力になっていると思います。皆さんが一年を通しポンプ操法の練習はもちろんのこと、点検や火防周りなど、消防団員の姿やポンプ車を村民に見せることで、皆さんの防火・防災意識も高まっているのではないかと思います」と感謝の意を述べました。

その後、来賓の方々からの激励の言葉を受け、団員たちは今年一年の決意を新たにしていました。

また同日、各分団では火防周りや防火水槽の点検清掃などが行われました。



激励を受け一年の決意を新たにする消防団員

## 学校給食試食会を開催

村学校給食センターでは1月24日から三日間、学校給食試食会を実施しました。

これは、1月下旬の「全国学校給食週間」にあわせ、地域の人たちにおいしく安全な給食を試食してもらい、学校給食への理解と関心を深めてもらおうと、同センターが実施。今年で10回目を迎えます。参加者は一食分の給食費260円を支払い、学校給食を楽しみました。

学校給食センターの反町玲子栄養士は、「栄養のバランスを考え、地元の野菜を使ったり、煮物なども作っています」と話していました。



反町栄養士と給食を味わう参加者